



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年8月8日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:4名(うち中学生2名)

指導員:5名

## テーマ 林の中の生きもの

台風 10 号の影響で崩れるかと思った天気は晴れたのは幸運でしたが、予報では 38℃の猛暑ということで、熱中症にかからないように日差しを遮るものがない川原を避け、林の中のコースを回りました。

クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミの声に混じって 2 か所でツクツクボウシが鳴いていました。この声を聞くと、夏も盛りを過ぎて秋の気配が感じられます。

コナラの根元の樹液酒場にはサトキマダラヒカゲが集まり、ルリタテハの姿もありました。

先月、卵の抜け殻とともにキマダラカメムシの一齢幼虫を見た場所の近くには、終齢幼虫の姿があり、成虫も確認できました。成虫の体の模様を見ると、「キマダラ」という名の由来がよく分かります。愛知県では 2011 年に初めて確認され (Wikipedia)、ここ数年で急激に数が増えている大型の外来カメムシです。

久しぶりに参加された S さん親子がタブレット端末を使って、そうした生き物の写真を撮っていました。中学生には学校からそれぞれ 1 台ずつ端末が与えられているということで、時代の変化が感じられます。

大野極楽寺公園では、ウバユリ 20 株ほどが花をつけていました。春先、この野鳥園の南側のフェンス付近にはたくさんのウバユリが芽を出し、今年はたくさんの花が見られると期待していたのですが、その後の草刈りで消失してしまいました。残念!!

池の周りにはツリガネニンジン、カワラナデシコ、ミソハギなどが咲き初秋の雰囲気です。

池の中にはギンヤンマやチョウトンボが飛んでいました。中学生の T 君がヒメガマに止まっているチョウトンボを狙って捕虫網を振りましたが、玉石が多い水辺は足場が悪くてゲットできず。でも、草原でツマグロヒョウモンやモンキチョウなど追って、虫捕りを楽しむことができました。(報告:齋竹)

## <その他観察できたもの>

虫:ウスバキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ハグロトンボ、キタキチョウ、ゴマダラチョウ、コムラサキ、コムスジ、ツバメシジミ、オオコフキコガネ、マメコガネ、タイワンタケクマバチ、ショウリョウバッタ、コハネイナゴ、クビキリギス、キリギリス(声)

鳥:トビ、コゲラ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ、ハシボソガラス、コジュケイ(声)

花:ヤブミョウガ、ツククサ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、ヒメクマツツラ、メマツヨイグサ、イワダレソウ、オオフタバムグラ、メリケンムグラ、キツネノマゴ、シロツメクサ、フジカンゾウ、ツキヌキニンドウ



(樹液酒場にきたサトキマダラヒカゲを観察)



ルリタテハ



キマダラカメムシ成虫と幼虫



ウバユリの花



カワラナデシコの花